

田和山の森から

雨模様のキンランを楽しむ会

今年の「キンランを楽しむ会」は、5月7日（日）に行いました。この日は生憎の雨模様でしたが、8時半に集まり観察路の草刈りや幟旗を立てる等準備し、10時からの開会を待ちました。出足が悪く、参加者は会員を含め36名でした。資料を配布しキンランの説明をした後、森を案内して回り予定通り終了しました。下草刈りなど手厚く保護を加えた区域のキンランが多くなり、森全体で271本確認できました。

近年、森のようすが多くの人に知られ、イベントの日以外にも、友人や家族連れなどで見学に訪れるようになってきました。

5月の作業

5月の作業は、「キンランを楽しむ会」のために花の竹杭作りや杭打ち、伐採木の片付け、除草などを行いました。



小雨の中竹杭作り

見事に咲いたナンジャモンジャ（ヒトツバタゴ）

市立病院入口の向かい側にあるナンジャモンジャの花が、今年は特に見事な花を咲かせました。ここには4本の木がありますが、これは吉田トキ子さん（奥谷町）が本会を退会される記念に植えられたものです。

吉田さんは、田和山サポートクラブの会員であり、里山の会にも最初から参加し（R14~25）熱心に活動していましたが、その後体調をくずし退会されました。その際、この木を記念として贈り植えられたものです。

今年は特に綺麗に花が咲きましたので、見舞いがてら、写真を撮って送ったところ、先日お礼の手紙が届きましたので掲載します。

「・・・竹を切り出すことから始めた里山の会の活動・毎日竹伐りでしたね。キンランを大事に大事にしヤマユリを見つけた時も大喜びでした。お便りによるとキンランが271本も咲いたとか。香しいヤマユリも沢山咲くようになったとか、石井先生はじめ会員の皆さんのご努力あってこそと心から敬意を表したいです。退会するまでの10年間、いろんな方々と親しくさせて頂きました。・・・追伸・ナンジャモンジャの花が映えるのも整備活動をなさっている松愛会の方々のお蔭かと思えます。どうぞよろしくお伝えくださいませ。」

（吉田さんは大病を患われ、ご主人を亡くされ、現在はディサービスに行ったり、ヘルパーさんにお世話になったりしておられます。）



田和山の樹木 第40回 イヌツゲ

前の回で、イヌツゲが見つからないと書きましたが、キンランの生育数を確認した際に、西側の市道沿いに



列になって10数本ほど見つけることが出来ました。コナラやノグルミの下に隠れるように並んでいます。イヌツゲは多く自生しており、見つからないのが不思議でしたが、見落としでした。姿がツゲに似ていますが、ツゲのように材が細工物（印鑑や将棋の駒）に向かないからイヌツゲと名前がついたようですが、全くちがう仲間になります。

葉の色で見れば、一般にイヌツゲは濃緑、ツゲは黄緑色と違いがありますが、葉の色合いは個体差があるため、あまり参考になりません。それよりも葉の付き方で区別した方が良いでしょう。イヌツゲは葉が互い違いに生える「互生」で、ツゲは葉が同じところから対になって生える「対生」となっています。田和山のイヌツゲは、直径が8cmぐらいの太さで、かなりの樹齢を重ねています。

写真左が田和山のイヌツゲです。写真右の左がツゲ、右がイヌツゲです。互生、対生の区別が出来ますか。

（竹下記）

今後の活動予定

6月2日（金）13:30~9日（金）13:30~、17日（土）9:00~、23日（金）13:30~、30日（金）13:30~
7月7日（金）13:30~5日（土）9:00~、21日（金）13:30~、28日（金）13:30~